

道産メロン各地でブランド化進む

「夕張だけではありません！」

味がよく贈答用などで人気が高い、道産メロンのブランド化が各地で進んでいる。道内の栽培面積は全国2位、出荷量は全国3位と国内有数の「メロン王国」になった。1ト当たりの算出額は50万円超と都道府県別では最高で、品質向上の努力が着実に実を結んでいる。

2021年 出荷量は全国3位の1万8900ト



次ぐ全国3位。産出町の日原和夫さん(北海道倶楽部会員)が生産する、1ト当たりの額を算「日原メロン」も全国的に出ると、北海道は人気が高い。54万5000円で、人気の秘密は徹底した次城(38万円)、熊チェック、選別だ。「らいでんメロン」で知られ、道本(47万9000円)を上回った。

「道産メロンは夕張メロンだけではないう。1960年には生産組合が誕生、夕張メロンは順調に全国区に成長したが、2021年の道産メロンの産出額は103億円、出荷量は1万8900トで、富良野メロン、らいでんメロン、空知管内栗山

道内各地で生産されるメロンのブランド化も進んでいる。富良野メロン、らいでんメロン、空知管内栗山

欠かせない」と話す。富良野メロンの選果では、検査員の肉眼チェックに加え、400〜500個に1個、実際にメロンを割って計器で甘さを調べる念の入れようだ。

た、メロンの栽培は重労働で、関係者は担い手不足への懸念を口にしている。富良野市のメロン農家は「いいメロンを作るため、朝4時からハウスの湿度や温度

札幌駅前開発見直しへ 事業費膨張で

2030年度未定される北海道新幹線札幌駅開業に合わせ、JR札幌駅南口に整備する再開発ビルを巡り、JR北海道が設計、施工を担う清水建設(東京)と当初計画を見直す方向で検討していることが分かった。北海道新聞が報じた。



見直しが検討されているJR札幌駅南口の再開発予定地(北海道新聞社提供)

を管理する。春から秋までは休みの日はない」と作業実態を明かす。らいでんメロン生産組合は「個々の農家が腕を磨いてブランド力をさらに強化しつつ、『メロン農家は稼げる』『メロンをやってみよう』と思える環境をつくらなければ、町は寂れ、地域は消えかねない」と厳しい表情だ。

当初計画によると、再開発ビルは地上43階、地下4階、高さ約24.5層のタワービル。新幹線駅と接続し、ホテルやオフィス、商業施設が入居。隣接するJRタワーを抜いて道内で最も高いビルになる。

北海道新聞社の本

- ★青ちゃん流 失敗知らずの定番料理 青山則晴著 A5判 164頁 定価1760円
- ★ヒゲマは見てる 道新クマ担記者が追う 内山岳志著/北海道新聞社編 B5判 104頁 定価1430円
- ★北海道の貨物列車 原田伸一・伊丹恒著 B5判 184頁 定価2420円

北海道の貨物列車の実情を密着取材で詳細に紹介。機関車同乗で運転席をルポするなど、現場のリアルな仕事に肉薄しました。貨物鉄道輸送150年記念出版。

HAC地域医療支援スタート

丘珠―中標津線は医師無料に

北海道エアシステム(HAC)は、10月に新規就航する丘珠―中標津線を活用した地域医療支援をスタートさせる。道などと連携し、中標津を含む根室管内の主な病院に派遣される医師に無料航空券を提供。地方の医師確保を後押しし、病院や自治体の負担軽減につなげる試みだ。

HACは日本航空(JAL)グループ。同様の取り組は大手航空会社系では全国初という。根室管内は人口10万人当たり約100人、道内で最少。そこで、同社は新規就航に合わせた地域貢献事業として企画した。

具体的には、札幌圏などの市内の病院が派遣する医師の医療機関から同管内に派遣される医師に、丘珠―中標津線を無料で搭乗できる航空券「地域医療パスポート」を発行する。HACは医薬品、医療器具などの緊急搬送についてもサポートを検討しており、「具体的な取り組みから、泌尿器科の常勤医師が不在となる町立中標津病院に、連携協定を結ぶ札幌

やり投げ北口選手快挙 世界陸上で金メダル

ハンガリーのブタベストで8月行われた、世界陸上の女子やり投げ決勝で、旭川東高校出身の北口榛花選手(25)が金メダルを手にした。66.73を記録、見事金メダルに輝いた。4位で迎えた最終6投目で逆転した。

五輪を含め、日本女子のトラック・フィールドの競技種目での金は初めての快挙。ゆかりのある旭川市では喜びの輪が広がった。北口選手は2019年からやり投げ大國といわ

るチェコに練習拠点を移す。同国出身のケセラック・コーチに師事し、孤独に耐えながら世界一を目指した。日の丸をまとって金メダルを首にかけた北口選手は「うれし過ぎて体が軽い。浮いているんじゃないかと思うくらい」と喜びを全面に出した。「誰もやっていなかったことを自分で選んだこと、誰もできなかった結果にたどり着けて本当にうれしい」と誇らしげに話した。

札商が新興企業支援サイト開設 販路拡大など支援

札幌商工会議所は、道内の商工会議所では初めて新興企業(スタートアップ)支援の特設サイトを開設した。札商会員の新興企業20社超の事業内容や企業情報などを紹介、販路拡大を支援するとともに既存企業に対する、新興企業との協業による事業改革や新規事業の創出を促す。

スタートアップは知名度が低く、販路の開拓などに苦戦を強いられるケースが多い。特設サイトで特色ある技術やサービスを紹介してもらい、会員企業だけでなく非会員の道内外の企業

を提示したという。これに對して、JR北は設計や工事のやり方を見直して追加費用を抑えるよう要請。当初計画を変更する検討に入った。1000億円単位で費用が膨らむ可能性もあるとされ、JR北や札幌市などでつくる再開発組合は「通常では考えられない金額だ。今のままで建設を進めるのは難しい」と話す。

猛暑の中で北海道マラソン 1万8000人道都快走 女子優勝は市民ランナー

北海道マラソン2023 市民ランナーの沢島朋美選手が2時間38分18秒で初制覇した。フルマラソンには1万8020人が出場。この日スタートした午前8時30分の大通公園の気温は29.2度、湿度78%、レイス中は気温が30度を超え、雨にも見舞われるなど、過酷なレースとなった。

外国人ランナー2人を含む一般出場男女10人が熱中症とみられる症状で救急搬送されたという。

外国人ランナー2人を含む一般出場男女10人が熱中症とみられる症状で救急搬送されたという。



猛暑の中、道都を駆け抜けるランナーたち(北海道新聞社提供)

「広大な海 雄大な山なみ 優しき溢れる日高町」

観光スポッポット

○門別競馬場
道内唯一の地方競馬場である門別競馬場は、地方競馬の中でも大井競馬場に並ぶ最大規模を誇り、夜空に輝く北斗七星にちなんだ「グランシャリオナイト」の愛称で呼ばれ、レースはすべてナイト開催しており、夜になると、照明に照らされた地方競馬最大級のコースが馬産地に輝きます。ライトの光を浴びて駆け抜ける優駿の姿を間近でご覧ください。

場内には、「ポラリススタンド」と呼ばれる、300インチの巨大スクリーンや、半屋外の観戦スペース、地元味が楽しめる飲食店のある快適な競馬観戦ができる施設があります。

北海道の雄大な自然を感じながら、ナイトレースの興奮とサラブレッドのロマンを心ゆくまでお楽しみ下さい。



○道の駅 樹海ロード日高

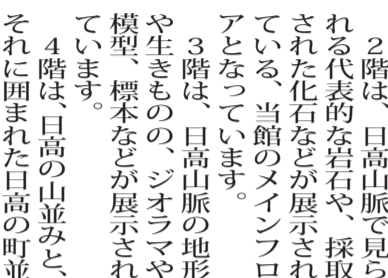
札幌と道東を結ぶ国道274号と、旭川方面と浦河方面を結ぶ国道237号の分岐点にあり、峠の入り口にあたる場所として多くの方々の憩いの場となっている道の駅です。

国道237号線の道路沿いの雄大な森林風景から、実際にその道が樹海ロードと呼ばれ、樹海ロードの道として樹海ロード日高という名前が付けられました。



道の駅内には直売所や売店、そば処などの店舗もあり、地域特産品のやまべが賀沢に入ったやまべ天そばは、食へ応え、味ともに抜群です。

また、開発局日高道路事務所提供する道内数々の山岳ルートである日勝峠の道路状況を7台のビデオカメラでとらえてリアルタイムで映し出すモニターテレビを休憩コーナーに設置しており、冬期間など気になる峠の天気はここでチェックできます。



○日高山脈博物館
日高山脈の雄大な自然と、人のかかわりを、地質や岩石の観点から紹介する博物館です。

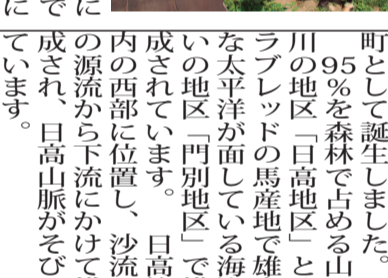
特徴ある外観の当館は4階建てで、各フロアごとに



テーマを設けています。1階は、日高の近代登山史や登山整備、登山ルート、ウォーキングコースなど、日高山脈を体験するためのインフォメーションです。2階は、日高山脈で見られる代表的な岩石や、採取された化石などが展示されている、当館のメインフロアとなっています。3階は、日高山脈の地形や生きものの、ジオラマや模型、標本などが展示されています。4階は、日高の山並みとそれに囲まれた日高の町並みをご覧いただける展望台となっています。

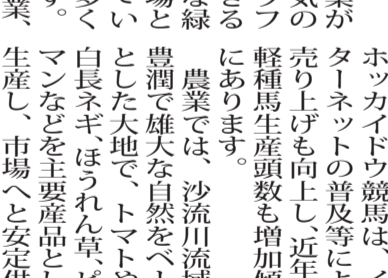
○日高国際スキー場
日高山脈のふもと「北日高岳」を一気に滑る、日高地方唯一の本格的なスキー場です。

ペアリフト4基と、全10コースからなる当スキー場は、起伏に富んだコースやフラットな一枚パーンのほか、非圧雪コースや林間コースなどバリエーションが豊富で初心者から上級者まで楽しめます。

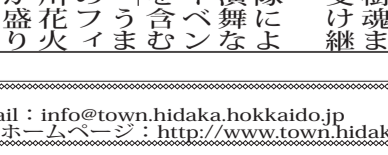
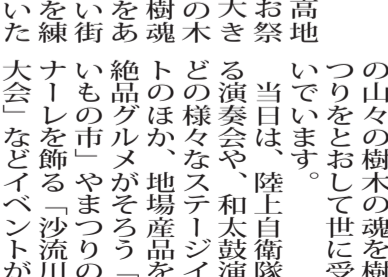


○Yogiボウエルサイ
国内トップクラスの引退名馬が在籍する牧場で延べ20頭以上の引退馬たちが暮らしています。

スノーボードを担ぎながら長距離を歩くこともあり、小さなお子様にはソリコースが人気です。



○町のキャラクター紹介
マスケットキャラクター「日高地区」クルミちゃん
エゾリスをモチーフとしており、町木であったくみの木より命名されています。好きな食べ物は牧草で、必殺技はロケットスタートです。夢は中央競馬G1レースの有馬記念に出場することです。



1歳未満の仔馬のことを「どねっこ」と呼ばれていることから命名されています。年齢は永遠の1歳です。好きな食べ物は牧草で、必殺技はロケットスタートです。夢は中央競馬G1レースの有馬記念に出場することです。

日高町とは

概要

日高町は、2006年3月1日に「旧日高町」と「門別町」という隣接していた町が合併し、新しい日高町として誕生しました。

95%を森林で占める山と川の地区「日高地区」とサラブレッドの馬産地で雄大な太平洋が面している海沿いの地区「門別地区」で構成されています。日高管内の西部に位置し、沙流川の源流から下流にかけて構成され、日高山脈がそびえ、門別地区は、軽種馬産業、水産業、農業の3つが基幹産業を担っています。

軽種馬産業では、国内の約80%が日高管内で生産され、日高町の占める割合は約18%です。

名馬が育つ土壌として、地域条件や気候に加え、積み重ねられてきた生産者の努力はもろろんのこと、より強い馬づくりを実践できるための環境づくりの推進があります。

門別競馬場で行われる、ホッカイドウ競馬は、インターネットの普及等により売り上げも向上し、近年は軽種馬生産頭数も増加傾向にあります。

農業では、沙流川流域に豊潤で雄大な自然をベースとした大地で、トマトや軟白長ネギ、ほうれん草、ピーマンなどを主要産品として生産し、市場へと安定供給されています。

水産業では、サケや日高昆布を筆頭に、カレイやホッケ、タコなどが水揚げされています。

また、サケの種苗やホツキ稚魚の放流、昆布礁の設置といった水産資源の維持・管理型の漁業が推進され、地域の特産品であるししゃもについても、ふ化放流事業を実施し沙流川の遡上の増進に取り組んでいます。

魂まつり」の始まりでした。大昔から日高山脈に棲むという伝説の童を守護神として、森の樹木に感謝を捧げ、童により守られてきた日高の山々の樹木の魂を樹魂まつりをおして世に受け継いでいます。

町の取組み

○第2次日高町総合振興計画
「いきいきと働き、学び、安心と笑顔で暮らせるまち」を将来像とし、「町民」と行政との協働によるまちづくり、「地域の特性を活かしたまちづくり」、「自助と自立によるまちづくり」の3つを基本姿勢として掲げています。

○富川市街地複合施設整備
門別地区にある富川市街地に、2025年4月オープン予定の、コミュニティ、行政サービス、マスターミナル機能等を備えた複合施設を整備しています。

○子育て世帯支援対策
新たに町民となった新生

イメージ図 施設には、パールの待合スペースや観光エリア、ふれあいホールや多目的ホール、室内遊具のあるキッズホールなどがあります。

子どもからお年寄りまで多くの方が気軽に立ち寄り、活動や交流の拠点として賑わいのある市街地の複合施設を目指します。

○産業学習推進制度
日高町教育委員会が主催する「日高町産業学習」は、定時制高校である町立の日高高等学校と連携し、日高町の自然豊かな地域資源を活用した様々な体験を通して、心身ともに健全な青少年の育成を目指す総合学習システムです。「日高町産業学習」の単位習得により3年間で卒業可能となります。

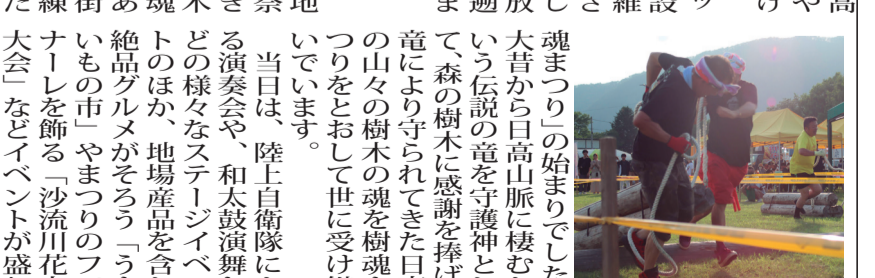
全寮制で、「日高地域の魅力を活かした新しい教育システム」の創設により、フ

○ふるさと納税(寄附)
「ふるさと日高応援寄附金」は、日高町がこれから取り組んでいく施策を皆さんに公表し、皆さんから寄附という形でそれぞれの施策を応援していただく制度です。

いただいた寄附金は、「福祉・少子化対策に関する事業」、「教育・文化に関する事業」、「自然環境保全に関する事業」、「産業振興及び地域振興に関する事業」、「ホッカイドウ競馬の応援に関する事業」の5つの施策に活用させていただきます。

人気の返礼品としては、町の特産品であるししゃもや、太平洋沿岸の一部地域・期間でしかとれない貴重な魚です。冷凍のまま弱火でじっくり焼いていただくと、ししゃもの自然のままの味をお楽しみいただけます。

詳しくは、日高町HPふるさと日高応援寄附金ページをご覧ください。寄附のご検討をよろしくお願いいたします。



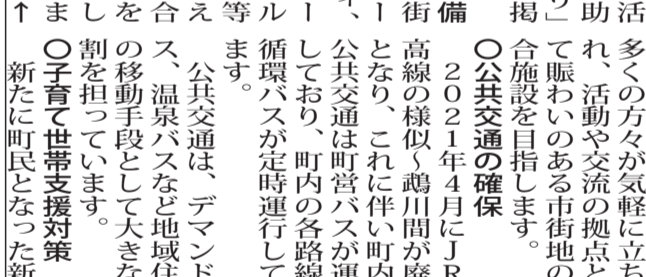
HPはこちら↑ 人気の返礼品「ししゃも」



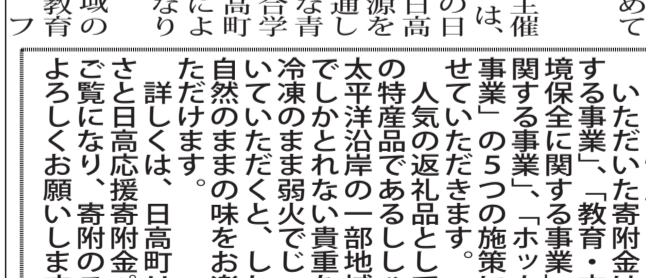
○道の駅 樹海ロード日高
札幌と道東を結ぶ国道274号と、旭川方面と浦河方面を結ぶ国道237号の分岐点にあり、峠の入り口にあたる場所として多くの方々の憩いの場となっている道の駅です。



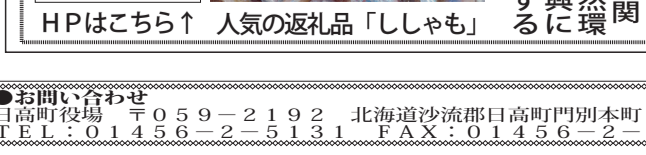
○道の駅 樹海ロード日高
札幌と道東を結ぶ国道274号と、旭川方面と浦河方面を結ぶ国道237号の分岐点にあり、峠の入り口にあたる場所として多くの方々の憩いの場となっている道の駅です。



○道の駅 樹海ロード日高
札幌と道東を結ぶ国道274号と、旭川方面と浦河方面を結ぶ国道237号の分岐点にあり、峠の入り口にあたる場所として多くの方々の憩いの場となっている道の駅です。



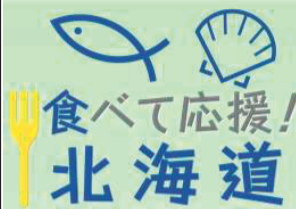
○道の駅 樹海ロード日高
札幌と道東を結ぶ国道274号と、旭川方面と浦河方面を結ぶ国道237号の分岐点にあり、峠の入り口にあたる場所として多くの方々の憩いの場となっている道の駅です。



1歳未満の仔馬のことを「どねっこ」と呼ばれていることから命名されています。年齢は永遠の1歳です。好きな食べ物は牧草で、必殺技はロケットスタートです。夢は中央競馬G1レースの有馬記念に出場することです。

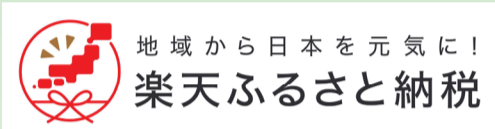


北海道の ふるさと納税



北海道の水産物を食べて応援!

ふるさとチョイス・楽天ふるさと納税で特集ページを公開中!



北海道の取組を応援!

広大な大地、豊かな自然環境や食など、多くのポテンシャルを有する北海道
そのポテンシャルを最大限発揮し、**～北海道の未来を創る～** 取組に、
皆様からの寄附を活用させていただきます。

地域振興施策

道内市町村が行う
地域づくりの取組を支援



赤れんが庁舎改修事業

先人から受け継いだ
「北海道のシンボル」を
次の世代に引き継ぐために



観光振興施策

北海道の魅力を活かした
観光地づくりに向けて



北海道立学校ふるさと応援事業

北海道立学校の
教育活動充実を支援

※本事業では、
返礼品をお送りしていません。

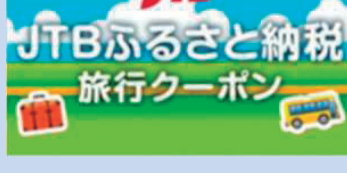


返礼品の一部をご紹介します!

道内1泊以上の旅行代金に充てられる
旅行クーポン人気No.1!



JR北海道で巡る
北海道フリーパス



夕張温泉水でエビ養殖を計画 メロンも「エサにします」

夕張市内外の事業者4社が、かつて炭鉱マンが汗を流した温泉水を活用し、エビを養殖、出荷する計画を進めている。現在、ほとんど使われていない温泉水は市有地にあり、夕張市(北海道倶楽部会員)はこれを貸与する方針。4社は8月末、「夕張に新たな産業を創出する会」(仮称)を設立、来春にも出荷を目指す計画で、実証実験に取り組んでいる。

4事業者 来春にも出荷へ

4社は夕張、札幌、大坂、場があった。塩分を含んだ千葉の新電力会社や飲食関連の事業者など。同市が温泉水の活用について相談したところ、養殖事業が浮上ったという。以前、市が日帰り入浴施設を開設していたが、2017年に休業。今は温泉水の大半が未利用のまま、川に流されている。計画によると、市有地に養殖施設を建設、直径約5分の円形水槽4基をつくる。バナメイエビの稚エビをベトナム、タイから輸入し、約3カ月かけて体長十数センチに育て出荷する。



温泉水を活用、エビ養殖を計画している温泉源(北海道新聞社提供)

屋内で温泉水を活用して養殖することから、生育状態が良く、味のいいエビを安定的に出荷できる見込み。出荷数は年間100万匹を目指し、事業費は約1億円。4社は7月から市内に設

貸し切りバス不足に拍車 コロナで車両が2割減

道内

インバウンドを含む観光需要が回復する中で、道内では貸し切りバスの不足が一段と目立ってきた。コロナ禍による観光客の落ち込みでバスの台数が2割減つた上、運転手を確保しにくくなっているからだ。「待ちに待った売上挽回のチャ

度は19年度比30%減の15億5300万円まで持ち直したものの、この間、多くの事業者が減車を踏み切った。この結果、道内のバスの台数は19年3月末の3175台から23年3月末には2537台にまで減っている。今年に入り、新型コロナウイルス感染症の5類移行もあって、道内でも観光需要が着実に回復。ツアー会社などから発注が大幅に増えているが、減車が響いて対応できないのが実情だ。札幌のバス会社は「6月ごろからバスが足りず、予約を一部断らざるを得なくなっている」と明かす。

不足が深刻な観光バス(北海道新聞社提供)

減車に加えてもう一つの理由が、運転手を確保するめどが立たないことだ。運転手はコロナ禍で仕事が減り、他業種に移った。秋の観光シーズンは道外からの修学旅行も増えるが、「直前の予約は難しくなるだろう。バスガイドの

ニトリレディス菊地選手が優勝

ニトリホールディングス(HD、北海道倶楽部会員)主催の女子プロゴルフ、ニトリレディス2023は8月24、27日、小樽市の小樽カントリー倶楽部で開かれた。最終日は雷雨のためプレーを中止、26日の第3ラウンド終了時に通算9アンダー(206)で首位に並んだ3人によるプレーオフを行った。その結果、菊地絵理香選手(苫小牧市出身)が、申ジエ選手(韓国)と岩井明愛選手を下し、地元優勝を果たした。昨年7月の通算6勝目。

北斗声

▼神宮球場や秩父宮ラグビー場でおなじみの明治神宮外苑地区が、再開発で揺れている。大東京のオアシスともいえる外苑で貴重な樹木の伐採を計画。これにはユネスコの諮問機関、イコモス(国際記念物遺跡会議)が「待った」をかけた。東京都も樹木保全の具体策を求めるなど「重い」腰を上げている。

▼再開発は神宮第2球場を解体、跡地にラグビー場を建設する。明治神宮、三井不動産など4事業者は工事の邪魔になる樹木を伐採する考えだ。作業はすでにスタート、事業者側は「既存樹木は設計、施工両面からの工夫により、保存、移植を検討する」と約束した。

▼伐採計画には当初から、故坂本龍一さんら著名人から反対の声が上がっていた。一帯は東京のど真ん中、巨木がうっそうと茂る「癒しの場」だ。野球好きの筆者もよく神宮球場には出かけるが、こんなに自然環境がよく、ほっとさせられるスタジアムは他にない。

▼それでもなお、伐採は近く始まる見通し、と聞く。事業者側は、イコモスや東京都の要請にどう応えるのか?日に日に高まる反対の民意に逆らい、計画を強行すれば、後世の人たちから断罪されること必然大。 (北)

「オン18」の肉、東京などで料理に

2019年から4年以上にわたり道東で乳牛を襲い続けてきた、雄のヒグマ「オン18」が7月30日、釧路管内釧路町で駆除された。オン18はその後、同管内白糠町の食肉処理場で解体処理され、東京にも、都内のジビエ料理店などで、顧客に提供されていたことが分かった。



東京のジビエ料理店提供された「オン18」の肉(北海道新聞社提供)

「この間送った肉、あれオンだったわ」と電話に、最初は耳を疑ったという。

「肉は柔らかくて癖がない。個体によって差はあるが、これはおいしい」と同店。全国ニュースで紹介されるなど、何かと話題になっただけに、同

「テリオードパート」(函館)が閉館 市民に愛され61年 道内止まらぬ百貨店の低迷

函館市民に長年愛された大型商業施設「テリオードパート」が8月31日、閉店した。1962年から五稜郭地区で営業を続けてきた。来客店の減少に加え、コロナ禍などで主力の衣料品などの売り上げが低迷。61年の歴史に幕を閉じた。函館など道内では百貨店の閉店が相次いでいる。

★ 乾杯をもっとおいしく。SAPPORO

完璧な生ビールを。

SAPPORO 大人の生ビール 黒ラベル

STOPP! 20歳未満飲酒・飲酒運転。妊娠中や授乳期の飲酒はやめましょう。お酒は楽しく適量で。のんだあとはリサイクル。 www.sapporobeer.jp サッポロビール株式会社

「すずらん」の咲くまち びらとり

観光スポット

日本一の広さを誇るすずらん群生地

かつて全滅の危機に瀕したすずらんを保護管理し、10年の歳月をかけ自然の状態に回復させました。

普段は保護のために立ち入り禁止となっていますが、花が見ごろになる6月中旬の期間のみ「すずらん鑑賞会」として一般の方にも公開しています。



北海道を象徴する放牧風景が見られる町営牧場



日高山脈の最高峰、日本百名山「幌尻ほろしり」岳

幌尻岳は標高2052m。アイヌ語で「ポロ(大きい)シリ(山)」を意味し、豊富な動植物と多彩な自然環境を有した美しい山です。



溪流釣りで有名な川魚の宝庫「沙流川」(さるがわ)

ちが技術を学び、観光客の方や町民が気軽に工芸を体験できる場として様々な体験プログラムを提供しています。

二風谷アイヌ文化博物館 重要有形民俗文化財「北海道二風谷及び周辺地域のアイヌ生活用品コレクション」をはじめとしたアイヌの民具や、重要な文化的景観に選定されたチセ(アイヌ民族の住居)群のほか、数多くの視聴覚資料、関係図書が所蔵・展示されています。



二風谷ファミリアランド 豊かな自然の中でアウトドア体験を満喫できる公園

旧マンロー邸 英国出身の考古学者・人類学者のニール・ゴードン・マンロー博士は、アイヌ文化研究のため平取町二風谷地区に移住し、研究のかたわら医師として奉仕活動に生涯を捧げました。

オキクルミカムイが矢で射抜いたというアイヌ伝承が残る山です。オプシヌプリは「穴があく・山」の意味で、夏至の前後には、幅約14メートルの穴に太陽が沈んでゆく幻想的な光景が出現します。



義経神社 平泉からひそかに北海道へ渡った源義経を、アイヌの人々が「ハンガン(判官)カムイ(神)」と呼び慕ったというのが平取町に残る義経伝説です。



平取町アイヌ工芸伝承館 ウレシバ アイヌ工芸の伝統が息づく「匠の道」第一線の工芸家の技術に触れることができ、工芸家を志望する人たちが技術を学び、観光客の夏には白装束をまとった神輿を担ぎ町内を練り歩く「義経神社例大祭」が、冬には馬産地である平取町ならではの馬体安全と必勝祈願の儀式「初午祭(はつうまきい)」が執り行われます。

二風谷ファミリアランド 豊富な自然の中でアウトドア体験を満喫できる公園

平取町とは

概要

日高山脈襟裳国定公園で最も高い幌尻岳をはじめとする山々を抱き、面積の約8割が山林の緑あふれるまちです。芽生(めむ)地区には、面積約15ヘクタールに広がる野生すずらん群生地があり、初夏を涼しげに彩ります。

また、まちを貫流する沙流川は、この地に豊かな森と肥沃な農地をもたらした母なる川です。流域には先史時代から人々の生活の跡が残され、近・現代においてもアイヌの伝統が息づくまちとして知られています。



人口: 4,606人 (R5.4末現在) 面積: 約743.09Km

畜産が基幹産業です。生産道一で、全国でも有数の産地となっており、関東・関西方面でも人気を集めています。

町の取り組み

アイヌ文化の振興 平取町は、先住民であるアイヌ民族の方々が数多く暮らし、生きたアイヌ文化を肌で感じることができ、稀有な地域です。

環境マネジメントシステム「取組み」に取組み、2018年4月に「平取町地球温暖化対策実行計画(事務事業編)」を策定し、地球温暖化という課題に向き合い、事業活動におけるエコな取組の実践、省エネ設備や太陽光発電の推進など、地域脱炭素に向けた取組を積極的に進めてきました。

北海道平取高等学校の魅力 町内唯一の高校である北海道平取高等学校は、近年入学人数の減少が続く中、その存続が危ぶまれていたにもかかわらず、2005年から2014年まで「ISO14001」を取得し、環境マネジメントシステム「取組み」に取組み、2018年4月に「平取町地球温暖化対策実行計画(事務事業編)」を策定し、地球温暖化という課題に向き合い、事業活動におけるエコな取組の実践、省エネ設備や太陽光発電の推進など、地域脱炭素に向けた取組を積極的に進めてきました。

カーボンニュートラルに向けた取組み 2005年から2014年まで「ISO14001」を取得し、環境マネジメントシステム「取組み」に取組み、2018年4月に「平取町地球温暖化対策実行計画(事務事業編)」を策定し、地球温暖化という課題に向き合い、事業活動におけるエコな取組の実践、省エネ設備や太陽光発電の推進など、地域脱炭素に向けた取組を積極的に進めてきました。

イベント情報 毎年2月上旬に「全道PKグランプリ」が二風谷ファミリアランドで開催されます。雪上を思うように動かない中でのPK合戦に、子どもから大人まで北海道各地から参加者が集まり、白熱した試合が繰り広げられます。また、観戦中にはバーベキューもできます。

食の祭典 寒い中でびらとり和牛を味わい、動いた後はびらとり温泉で温まって帰る、ぜひ一度足を運んでみてください。



ふるさと納税(寄附) いただいた寄附金は、町が抱えている様々な課題解決のために活用させていただきます。

ふるさと納税(寄附) いただいた寄附金は、町が抱えている様々な課題解決のために活用させていただきます。

ふるさと納税(寄附) いただいた寄附金は、町が抱えている様々な課題解決のために活用させていただきます。

ふるさと納税(寄附) いただいた寄附金は、町が抱えている様々な課題解決のために活用させていただきます。

ふるさと納税(寄附) いただいた寄附金は、町が抱えている様々な課題解決のために活用させていただきます。